

R3 SYNTHESIZER/ VOCODER



エフェクト・ガイド

KORG

目次

Overview	1	22. S.Flgr(Stereo Flanger/Comb Filter) ..	19
エフェクトの入出力について	1	23. S.Phaser (Stereo Phaser).....	20
ディレイ・タイムについて	1	24. S.Tremlo (Stereo Tremolo)	21
Time Ratio	1	25. S.RingMd (Stereo Ring Modulator)	21
インサート・エフェクトの		
ディレイ・タイム	1	26. PitchSft (Pitch Shifter)	
エフェクト・パラメーターのコントロール..	2	S.PtcSft (Stereo PitchShifter)	22
LFO1/2、ディレイ・タイムの同期	2	27. GrainSft (Grain Shifter)	
SyncNote、Resolutn(Resolution) の値と		S.GrnSft (Stereo GrainShift).....	23
音符の対応	2	28. S.Vibr (Stereo Vibrato).....	24
		29. W.RotrySP	
		RotrySpk (RotarySpeaker)	25
		30. W.TalkMd	
		Talk Mod (Talking Modulator)	26
エフェクト・パラメーター	3		
1. S.Comp (Stereo Compressor).....	3		
2. S.Limit (Stereo Limiter)	4		
3. S.Gate (Stereo Gate).....	4		
4. S.Filter (Stereo Filter)	5		
5. S.Wah (Stereo Wah)	6		
6. S.2BndEQ (Stereo 2Band EQ):			
S.4BndEQ (Stereo 4Band EQ):.....	7		
7. Distort (Distortion)	8		
8. CabiSim (Cabinet Simulator)	9		
9. TubeAmp (Tube PreAmp Simulator)			
S.TubAmp(Stereo Tube PreAmp Simulator)			
.....	9		
10. S.Dcmtr (Stereo Decimator).....	10		
11. Reverb.....	11		
12. EarlyRef (Early Reflections).....	12		
13. LCR Dly (L/C/R Delay)	13		
14. S.Delay (Stereo Delay)	14		
15. AtPanDly (Auto Panning Delay).....	14		
16. S.APnDly (Stereo Auto Panning Delay)			
.....	15		
17. ModDelay(Modulation Delay).....	16		
18. S.ModDly(Stereo Modulation Delay)			
.....	17		
19. TapeEcho.....	17		
20. S.Chorus (Stereo Chorus)	18		
21. Ensemble.....	18		

Overview

R3 のエフェクトは、2 バンドEQ、2 系統のインサート・エフェクト、1 系統のマスター・エフェクトで構成されています。ティンバーごとの音をEQとインサート・エフェクトで音作りし、マスター・エフェクトで全体の空間処理を行います。

インサート・エフェクト、マスター・エフェクトには、30 種類のエフェクトが選択でき、その分類は次のようになります。

01- 10	EQ やコンプレッサー等のフィルター、ダイナミクス系
11- 19	リバーブ系、アーリー・リフレクション、ディレイ系
20- 30	コーラスやフェイザー等のピッチ、フェイズ・モジュレーション系、ロータリー・スピーカーやピッチ・シフター

エフェクトの入出力について

インサート・エフェクト、マスター・エフェクトの入出力は、ステレオ・イン ステレオ・アウトです。エフェクトのパラメーター “Dry/Wet” の Dry (エフェクトをかけないダイレクト音) は、ステレオ入力した音をそのままステレオ出力します。Wet (エフェクトをかけた音) は、選択したエフェクトの種類によって出力のしかたが異なり、次のようなバリエーションがあります。

Wet	Mono In - Mono Out	
	Mono In - Stereo Out	
	Stereo In - Stereo Out	

入出力のバリエーションは、以後各エフェクトの説明で出てくるブロック図左上に表記しています。

最良の音質を得るためにインサート・エフェクトとマスター・エフェクトへの入力レベルは、12.Amp ページの “Level”、7.Mixer ページの “OSC1 Lvl”、“OSC2 Lvl”、“NoiseLvl” や、各エフェクトの “Trim” で調節し、クリップしない最大レベルにしてください。その後、各エフェクトの “Dry/Wet” や “Output Level” などエフェクトの出力レベルを調整してください。

エフェクト・タイプによっては、“Trim” や “Output Level” パラメーターがありません。

エフェクトの入力レベルを認識する入力レベル・メーター等はありません。入力レベルが十分でないときは入力レベル不足により S/N 比が低下したり、過入力ときはクリップ音が発生することがあります。

ディレイ・タイムについて

note “BPM Sync” がオンのときのディレイ・タイムについては「LFO1/2、ディレイ・タイムの同期」(2 ページ)を参照してください。

Time Ratio

ディレイ・エフェクトでは、ディレイ・タイムと “TimRatio (Time Ratio)” を掛け合わせた時間が実際のディレイ・タイムとなります。

例えば、

- “BPM Sync”: Off、“L Delay”: 800ms、“R Delay”: 400ms、“TimRatio”: 50% の場合、実際のディレイ・タイムは Lch で 400ms、Rch で 200ms となります。
- “BPM Sync”: On、“L Delay”: 4 分音符、“R Delay”: 8 分音符、“TimRatio”: 50% の場合、実際のディレイ・タイムは Lch で 8 分音符、Rch で 16 分音符となります。

インサート・エフェクトのディレイ・タイム

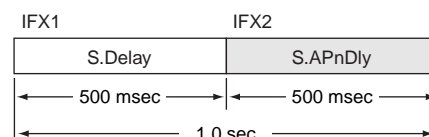
ディレイを使用しているエフェクト・タイプは、大きく分けると2つのタイプがあります。

- ディレイ系エフェクト
- ディレイ・タイムを固定したディレイを内部的に使用しているコーラスなどのモジュレーション系エフェクト

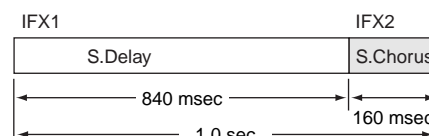
2つのインサート・エフェクトに、これらのエフェクトを使用した場合、エフェクトのディレイ・タイムは、ティンバーごとに合計で1secまで設定することができます。

例えば、

- インサート・エフェクト1に S.Delay (ステレオ・ディレイ) インサート・エフェクト2に S.APnDly (ステレオ・オートパンニング・ディレイ) を使用した場合、各エフェクトには、500msec ずつのディレイ・タイムが割り当てられます。



- インサート・エフェクト1に S.Chorus (ステレオ・コーラス) インサート・エフェクト2に S.Delay (ステレオ・ディレイ) を使用した場合、S.Chorus に 160msec、S.Delay には 840msec ディレイ・タイムが割り当てられます。



エフェクト・パラメーターのコントロール

R3では、インサート・エフェクト1と2、マスター・エフェクトの各エフェクトでパラメーターを一つずつ、合計で3つまでを[1]～[4]ノブにアサインして、演奏中にコントロールすることができます。

ノブへアサインするの前に、各エフェクトからパラメーターを1つ選ぶ必要があります。これはエフェクトのエディットで“Fx Knob”というパラメーターで設定します(☞R3取扱説明書 p.50)。設定後にSHIFTファンクションのKNOB ASSIGNでIFx1Knob、IFx2Knobなどを選択すると、“Fx Knob”に設定したパラメーターをノブでコントロールすることができます(☞R3取扱説明書 p.81)。

LFO1/2、ディレイ・タイムの同期

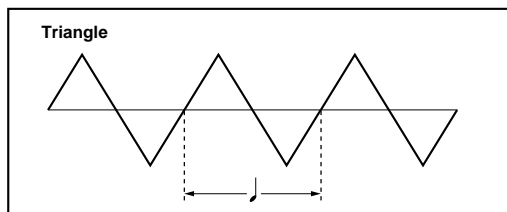
LFO1/2の周期やディレイ・エフェクトのディレイ・タイムを、アルペジエーターのテンポに同期させることができます(“BPM Sync”=On時)。

例 1: LFO1

18. LFO1 ページ “BPM Sync” ([3] ノブ) : On

18. LFO1 ページ “SyncNote” ([4] ノブ) : 1/4

この場合、LFOの一周期が4分音符1個分の時間に設定されます。



例 2: ディレイ・タイム

29. Ins FX1 ページ “Type” ([1] ノブ) : S.Delay

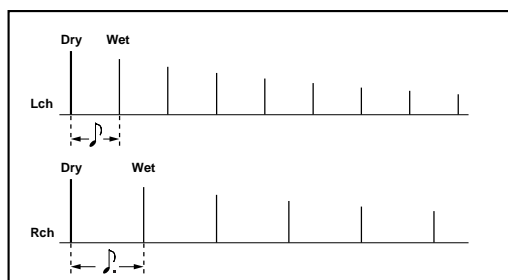
29. Ins FX1 ページ “Dry/Wet” ([2] ノブ) : Wet

29. Ins FX1 ページ “Parameter” ([3] ノブ) : BPM Sync、
“Value” ([4] ノブ) : On

29. Ins FX1 ページ “Parameter” ([3] ノブ) : L Delay、
“Value” ([4] ノブ) : 1/8

29. Ins FX1 ページ “Parameter” ([3] ノブ) : R Delay、
“Value” ([4] ノブ) : 1/8

この場合、ディレイ・タイムが8分音符1個分の時間に設定されます。



SyncNote、Resolutn(Resolution) の値と音符の対応

LFO、ディレイの“SyncNote”の値と、33. Arpeg-B ページの“Resolutn”は以下のような音符に対応します。それぞれのパラメーターが[TEMPO]ノブで設定したテンポと、値に対応した音符に従って動作します。

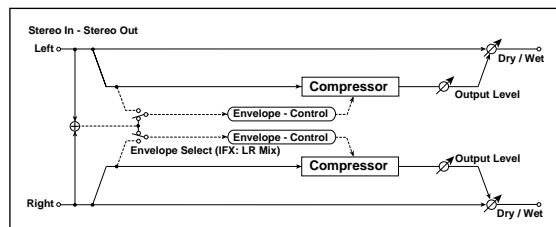
音符	LFO, Delay: “SyncNote”	Arpeggiator: “Resolution”
♩	1/64	
♪	1/32	1/32
♩ ₃	1/24	1/24
♪	1/16	1/16
♩ ₃ .	1/12	1/12
♪	1/8	1/8
♩ ₃	1/6	1/6
♪.	3/16	
♪	1/4	1/4
♩ ₃	1/3	
♪.	3/8	
♪	1/2	1/2
♩ ₃	2/3	
♩.	3/4	
♩	1/1	1/1

エフェクト・パラメーター

- [パラメーター名] **only MFX**: マスター・エフェクトで使用したときに表示され、設定できるパラメーターです。
- [パラメーター名] **only IFX**: インサート・エフェクトで使用したときに表示され、設定できるパラメーターです。
- [エフェクト名] **Double Size**: インサート・エフェクト1のみで選択できるエフェクトです。このエフェクト・タイプを選んだときは、インサート・エフェクト2は使用できません。
- [パラメーター名] **🔗**: “IFx1 Knob”、“IFx2 Knob”、“MFX Knob” で選択できるパラメーターです。フロント・パネルのノブにアサインし、演奏中にエディットすることができます。
- 共通のパラメーター
 Dry/Wet [Dry, 99:1...1:99, Wet]
 IFx1 Knob, IFx2 Knob, MFX Knob [エフェクトの種類によって選択可能なものが変わります]: エフェクトのパラメーターのうち、フロント・パネルのノブにアサインするものを選びます。

1. S.Comp (Stereo Compressor)

入力信号を圧縮して音の粒をそろえて、パンチを与えるエフェクトです。アタックの強い音に使用すると効果的です。マスター・エフェクトでは、左右のチャンネルをリンクしたり、切り離して独立させて使用することができます。



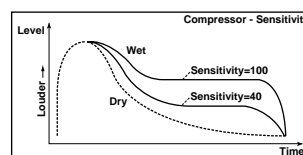
Env Sel (Envelope Select) **only MFX** [LR Mix, LR Indv.]

LR Mixにすると、左右のチャンネルをリンクして、左右ミックスした信号のエンベロープで同時にコントロールします。LR Indivにすると、左右独立してコントロールします。

note インサート・エフェクトでは、LR Mix 固定となります。

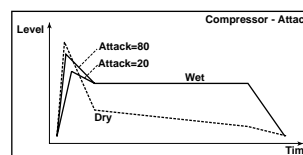
Sens (Sensitivity) **🔗** [001...127]

コンプレッサーの感度を調節します。この値が大きいほど、小さなレベルの音が持ち上がります。“Sens”の値を上げると全体的に音量が大きくなるので、“OutLevel”で最終的な音量を調節します。



Attack **🔗** [000.1...500.0ms]

コンプレッサーのアタック感の強さを調節します。

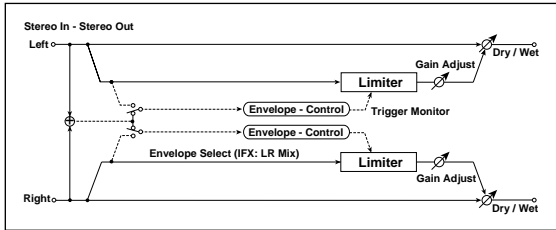


OutLevel (Output Level) [000...127]

コンプレッサーの出力レベルを調節します。

2. S.Limit (Stereo Limiter)

入力信号の音量を一定にするエフェクトです。設定したレベル以上の音のみを圧縮して不要なピークを抑えます。マスター・エフェクトでは、左右のチャンネルをリンクしたり、切り離して独立させることができます。



Env Sel (Envelope Select) only MFX [LR Mix, LR Indv.]

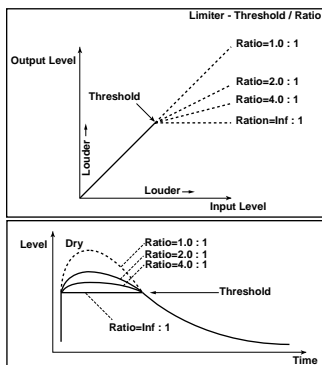
☞ 「1. S.Comp (Stereo Compressor)」

Ratio [1.0:1...50.0:1...Inf:1]

信号の圧縮比を調節します。

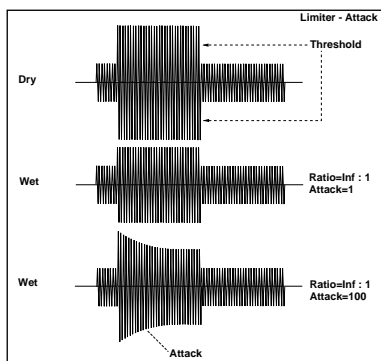
Threshld (Threshold) [-40...+00dB]

圧縮がかかるレベルを調節します。トリガー信号の大きさが「Threshld」で設定したレベルを超えたときのみ圧縮がかかります。



Attack [000.1...500.0ms]

圧縮のアタック・タイムを調節します。値を大きくするほどゆっくりと圧縮がかかりますようになります。

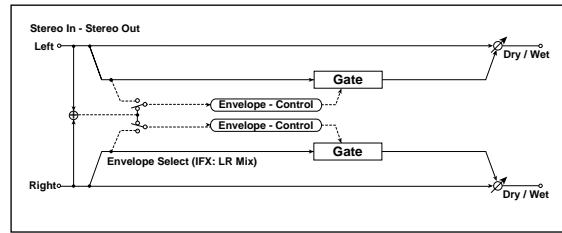


GainAjst (Gain Adjust) [-Inf, -40...+24dB]

出力レベルを調節します。リミッターの場合、圧縮をかけると全体的にレベルが下がるので、このパラメーターで調節します。

3. S.Gate (Stereo Gate)

設定したレベルより小さな入力信号をミュートするエフェクトです。



Env Sel (Envelope Select) only MFX [LR Mix, LR Indv.]

☞ 「1. S.Comp (Stereo Compressor)」

Threshld (Threshold) [000...127]

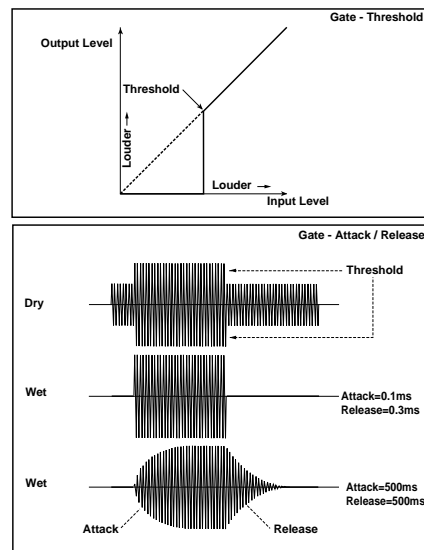
ゲートのかかるレベルを調節します。

Attack [000.1...500.0ms]

ゲートのアタック・タイムを調節します。

Release [0000.3...1500.0ms]

ゲートのリリース・タイムを調節します。

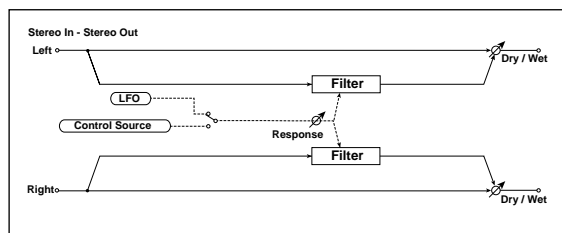


GainAjst (Gain Adjust) [-Inf, -40...+24dB]

出力レベルを調節します。

4. S.Filter (Stereo Filter)

ステレオ・タイプのフィルターです。



Filter (Filter Type) [LPF24, LPF18, LPF12, HPF12, BPF12]

フィルター・タイプを選択します。

☞ 「R3 取扱説明書」p.33 “Filt1Bal”

Cutoff [000...127]

フィルターのカットオフ周波数を設定します。

☞ 「R3 取扱説明書」p.33 “Cutoff1”

Resonanc (Resonance) [000...127]

フィルターのレゾナンスを調節します。

☞ 「R3 取扱説明書」p.33 “Reso1”

Trim [000...127]

エフェクトへの入力レベルを調節します。

Mod Src (Modulation Source) [LFO, Ctrl]

カットオフ周波数へのモジュレーション・ソースを選択します。LFO にすると、このエフェクトの内部 LFO でカットオフ周波数にモジュレーションをかけます。Ctrl にすると、“Ctrl Src” で選択したコントロール・ソースでカットオフ周波数をコントロールします。

Mod Int (Modulation Intensity) [-63...+63]

モジュレーション・ソース (“Mod Src”) によるモジュレーション効果の深さを調節します。

Response (Modulation Response) [000...127]

モジュレーション効果のレスポンスを調節します。0 で反応がゆっくりになります。

LFO Sync (LFO BPM Sync) [Off, On]

モジュレーション・ソース (“Mod Src”) が LFO のときの内部 LFO の周期を、[TEMPO] ノブで設定したテンポや、MIDI クロックに同期させるかを設定します。

Off にすると、“LFO Freq” で設定した周期で LFO が動作します。

On にすると、LFO の周期がテンポまたは MIDI クロックに同期します。

note 42. MIDI ページの “Clock” が Internal のときは、テンポに同期します。External のときは、外部 MIDI 機器から受信した MIDI クロックに同期します。

LFO Freq (LFO Frequency) [0.01...100.0Hz]

モジュレーション・ソース (“Mod Src”) が LFO、“LFO Sync” が Off のときの内部 LFO の周期を設定します。値が大きいくほど周期が速くなります。

このパラメーターが “IFx1 Knob” などアサインされているときに、“LFO Sync” を On にすると Sync Note にアサインが切り替わります。同様に “Mod Src” を Ctrl にすると、設定は無効になります (ディスプレイに “Invalid” と表示)。

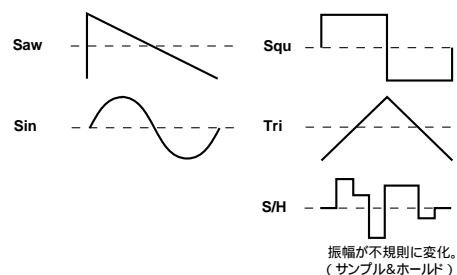
SyncNote (LFO Sync Note) [8/1...1/64]

モジュレーション・ソース (“Mod Src”) が LFO、“LFO Sync” が On のときの内部 LFO の周期を、[TEMPO] ノブで設定したテンポに対する倍率で設定します。テンポに対して、設定した値 (音符) の長さが 1 周期になります。例えば、4 分音符にすると、1 拍が 1 周期になります。

このパラメーターが “IFx1 Knob” などアサインされているときに、“LFO Sync” を On にすると LFO Freq にアサインが切り替わります。同様に “Mod Src” を Ctrl にすると、設定は無効になります (ディスプレイに “Invalid” と表示)。

LFO Wave (LFO Waveform) [Saw, Square, Triangle, Sine, S&H]

モジュレーション・ソース (“Mod Src”) が LFO のときの内部 LFO の波形を選択します。

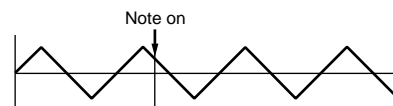


LFO Shape (LFO Shape) [-63...+63]

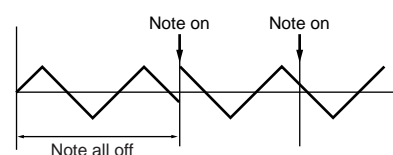
モジュレーション・ソース (“Mod Src”) LFO 時の、内部 LFO 波形を調節します。

Key Sync (LFO Key Sync) [Off, Timbre]

モジュレーション・ソース (“Mod Src”) が LFO のときのノート・オン時の LFO のリセットについて設定します。Off にすると、ノート・オン時に LFO の位相はリセットされません。



Timbre にすると、なにも鍵盤を押さえていない状態から、最初のノート・オンで “IniPhase” で設定した位相に LFO がリセットされ、以後のノート・オンに対しても、その位相でモジュレーションをかけます。



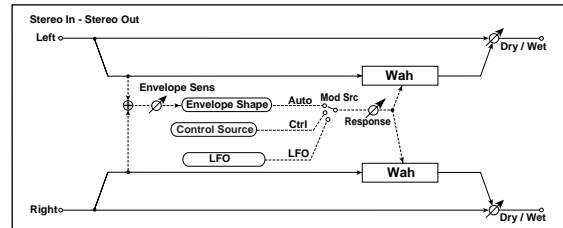
IniPhase (LFO Init Phase) [000...180°]
 “Key Sync” が Timbre のときの波形のスタート位置を設定します。
 0° にすると、ノート・オン時に波形の先頭からスタートします。
 180° にすると、ノート・オン時に波形の半周期前からスタートします。

Ctrl Src (Control Source) [Off, Velocity...MIDI3]
 モジュレーション・ソース (“Mod Src”) が Ctrl のときのコントロール・ソースを選択します。選択したソースによってフィルターをコントロールします。

ソース	説明
Off	使用しない
Velocity	ペロシティ
P.Bend	[PITCH] ホイール
M.Wheel	[MOD] ホイール
F.Pedal	フット・ペダル
F.Sw	フット・スイッチ
Damper	ダンパー・ペダル
MIDI1	45. PatchSrc ページの “MIDI1” で設定したソース
MIDI2	45. PatchSrc ページの “MIDI2” で設定したソース
MIDI3	45. PatchSrc ページの “MIDI3” で設定したソース

5. S.Wah (Stereo Wah)

ビンテージ・ワウ・ペダルやオート・ワウのシミュレーション、さらに幅広いレンジ設定まで可能なステレオ・タイプのワウ・エフェクトです。



Wah Type [Y-CRY, RM-A, RM-B, J-CRY, VOX, M-VOX]

ワウ・タイプを選択します。

“Mod Src” が Auto/Ctrl (PitchBend 以外) のときは、“Wah Freq” = 0、“Resonanc” = 0、“Mod Int” = +63 でモデリングしたワウの特性になります。

“Mod Src” が LFO/Ctrl (PitchBend) のときは、“Wah Freq” = 32、“Resonanc” = 0、“Mod Int” = +45 のときにモデリングしたワウの特性になります。

Wah Freq (Frequency) [-63...+63]

ワウの中心周波数を設定します。

Resonanc (Resonance) [-63...+63]

レゾナンス(共振の強さ)を調節します。

Mod Src (Modulation Source) [Auto, LFO, Ctrl]

ワウの中心周波数をコントロールするソースを選択します。
 Auto にすると、入力信号の大きさの変化(エンベロープ)によってスイープするオート・ワウになります。ファンク系のギター・カッティングやクラビなどの音でたびたび使用されます。LFO にすると、このエフェクトの内部LFOでワウの中心周波数をコントロールします。Ctrl にすると、ワウ・ペダルのようにモジュレーション・ソースで直接フィルターをコントロールできます。

Mod Int (Modulation Intensity) [-63...+63]

モジュレーション・ソース (“Mod Src”) によるモジュレーション効果の深さを調節します。

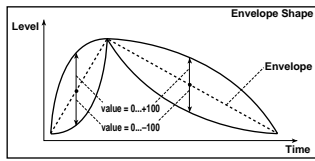
Response (Modulation Response) [000...127]

モジュレーション効果のレスポンスを調節します。0 で反応が緩やかになります。

Env Sens (Envelope Sensitivity) [000...127]

モジュレーション・ソース (“Mod Src”) が Auto のときのオート・ワウの感度を調節します。入力信号が小さくて十分にスイープしないときは、値を大きくします。また入力信号が大きすぎてフィルターの動きが一旦止まってしまうようなときには、値を小さくします。

EnvShape (Envelope Shape) [-63...+63]
 モジュレーション・ソース (“ Mod Src ”) が Auto のときのオート・ワウのスイープ・カーブを設定します。



LFO Sync (LFO BPM Sync) [Off, On]
 モジュレーション・ソース (“ Mod Src ”) が LFO のときの内部 LFO の周期を、[TEMPO] ノブで設定したテンポや、MIDI クロックに同期させるかどうかを設定します。

☞ 5 ページ 「 LFO Sync (LFO BPM Sync) 」

LFO Freq (LFO Frequency) [0.01...100Hz]
 モジュレーション・ソース (“ Mod Src ”) が LFO、“ LFO Sync ” が Off のときの内部 LFO の周期を設定します。

☞ 5 ページ 「 LFO Freq (LFO Frequency) 」

SyncNote (LFO Sync Note) [8/1...1/64]
 モジュレーション・ソース (“ Mod Src ”) が LFO、“ LFO Sync ” が On のときの内部 LFO の周期を、[TEMPO] ノブで設定したテンポに対する倍率によって設定します。

☞ 5 ページ 「 SyncNote (LFO Sync Note) 」

LFO Wave (LFO Waveform) [Saw, Square, Triangle, Sine, S&H]
 モジュレーション・ソース (“ Mod Src ”) が LFO のときの LFO の波形を選択します。

☞ 5 ページ 「 LFO Wave (LFO Waveform) 」

LFOShape (LFO Shape) [-63...+63]
 モジュレーション・ソース (“ Mod Src ”) が LFO のときの LFO 波形を調節します。

☞ 5 ページ 「 LFO Shape (LFO Shape) 」

Key Sync (LFO Key Sync) [Off, Timbre]
 モジュレーション・ソース (“ Mod Src ”) が LFO のときのノート・オン時の LFO のリセットについて設定します。

☞ 5 ページ 「 Key Sync (LFO Key Sync) 」

IniPhase (LFO Init Phase) [000...180°]
 “ Key Sync ” が Timbre のときの波形のスタート位置を設定します。

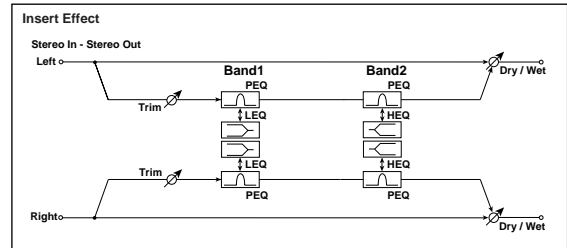
☞ 6 ページ 「 IniPhase (LFO Init Phase) 」

Ctrl Src (Control Source) [Off, Velocity...MIDI3]
 モジュレーション・ソース (“ Mod Src ”) が Ctrl のときのコントロール・ソースを選択します。選択したソースによってフィルターをコントロールします。

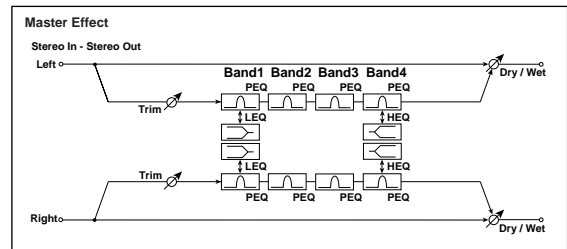
☞ 6 ページ St.Filter 「 Ctrl Src (Control Source) 」

6. S.2BndEQ (Stereo 2Band EQ): IFX S.4BndEQ (Stereo 4Band EQ): MFX

タイプを独立して選べるステレオ EQ です。
 インサート・エフェクトでは 2 バンドのステレオ EQ になります。



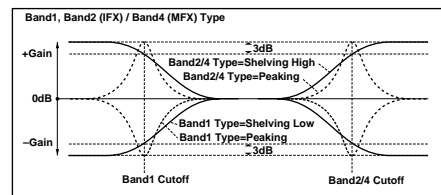
マスター・エフェクトでは、4 バンドのステレオ EQ になります。このときは、2 つのバンド (B2、 B3) のイコライザー・タイプがピーキング・タイプのイコライザーに固定されます。



Trim [000...127]
 イコライザーへの入力レベルを調節します。

B1 Type [Peaking, Shelv Lo]
 バンド 1 のイコライザー・タイプを選択します。

B2 Type/B4 Type [Peaking, Shelv Hi]
 インサート・エフェクトでは、バンド 2 のイコライザー・タイプを選択します。
 マスター・エフェクトでは、バンド 4 のイコライザー・タイプを選択します。このときバンド 2 は、ピーキング・タイプのイコライザーになります。




B1 Freq (B1 Frequency) [20Hz...20.0kHz]
 バンド 1 の中心周波数を設定します。

B1 Q [00.5...10.0]
 バンド 1 の帯域幅を設定します。

B1 Gain [-18.0...+18.0dB]
 バンド 1 のゲインを調節します。


B2 Freq (B2 Frequency) [20Hz...20.0kHz]
 バンド 2 の中心周波数を設定します。

B2 Q [00.5...10.0]
 バンド2の帯域幅を設定します。

B2 Gain  [-18.0...+18.0dB]
 バンド2のゲインを調節します。


B3 Freq (B3 Frequency) only MFX [20Hz...20.0kHz]
 バンド3の中心周波数を設定します。

B3 Q only MFX [00.5...10.0]
 バンド3の帯域幅を設定します。

B3 Gain  only MFX [-18.0...+18.0dB]
 バンド3のゲインを調節します。

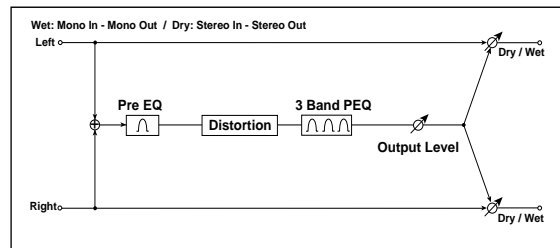
B4 Freq (B4 Frequency) only MFX [20Hz...20.0kHz]
 バンド4の中心周波数を設定します。


B4 Q only MFX [00.5...10.0]
 バンド4の帯域幅を設定します。

B4 Gain  only MFX [-18.0...+18.0dB]
 バンド4のゲインを調節します。

7. Distort (Distortion)


3バンドのEQで幅広いバリエーションが得られるディストーション・エフェクトです。



Gain  [000...127]
 ディストーションの歪み具合を設定します。


Pre Freq (Pre EQ Frequency) [20Hz...20.0kHz]
 PreEQの中心周波数を設定します。

Pre Q (Pre EQ Q) [00.5...10.0]
 PreEQのを設定します。

Pre Gain (Pre EQ Gain)  [-18.0...+18.0dB]
 PreEQのゲインを調節します。


B1 Freq (B1 Frequency) [20Hz...20.0kHz]
 バンド1の中心周波数を設定します。

B1 Q [00.5...10.0]
 バンド1の帯域幅を設定します。

B1 Gain  [-18.0...+18.0dB]
 バンド1のゲインを調節します。


B2 Freq (B2 Frequency) [20Hz...20.0kHz]
 バンド2の中心周波数を設定します。

B2 Q [00.5...10.0]
 バンド2の帯域幅を設定します。

B2 Gain  [-18.0...+18.0dB]
 バンド2のゲインを調節します。

B3 Freq (B3 Frequency) [20Hz...20.0kHz]
 バンド3の中心周波数を設定します。

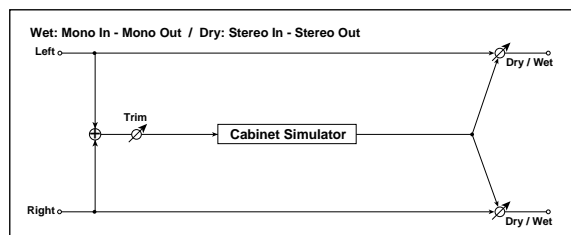
B3 Q [00.5...10.0]
 バンド3の帯域幅を設定します。

B3 Gain  [-18.0...+18.0dB]
 バンド3のゲインを設定します。

OutLevel (Output Level) [000...127]
 出力レベルを調節します。

8. Cabi Sim (Cabinet Simulator)

有名なギター・アンプの音響特性をシミュレートしたエフェクトです。



CabiType (Cabinet Type)

[TWD 1x8...USV30]

キャビネット・タイプを選択します。

TWD 1x8: 8 インチ × 1 のスピーカー、オープン・バックのキャビネット・モデル。

TWD 1x12: 12 インチ × 1 のスピーカー、オープン・バックのブルージーな特性を持つキャビネット。

TWD 4x10: 10 インチ × 4 のスピーカー、オープン・バックのキャビネット。

BLK 2x10: 10 インチ × 2 のスピーカー、オープン・バックのキャビネット。

BLK 2x12: 12 インチ × 2 のスピーカー、オープン・バック、アメリカン・タイプのキャビネット。

AC15: 12 インチ × 1 のスピーカー、オープン・バック、VOX AC15のキャビネット。

AC30: 12 インチ × 2 のスピーカー、オープン・バック、VOX AC30のキャビネット。

AD412: 12 インチ × 4 のスピーカー、クロ・ズド・バック、VOX AD412のキャビネット。

UK H30: 30W、12 インチ × 4 のスピーカー、クローズド・バック、クラシック・タイプのキャビネット。

UK T75: 75W、12 インチ × 4 のスピーカー、クローズド・バックのキャビネット。

UK V30: 30W、12 インチ × 4 のスピーカー、クローズド・バックのキャビネット。

Air

[000...127]

マイクの位置を設定します。値を大きくするほど、キャビネットから離れた位置にセットした状態になります。

Trim

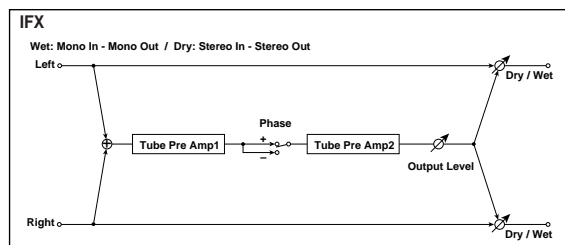
[000...127]

入力レベルを調節します。

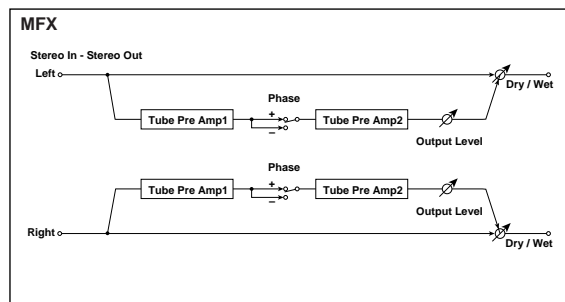
9. TubeAmp (Tube PreAmp Simulator): IFX

S.TubeAmp (Stereo Tube PreAmp Simulator): MFX

2 段の真空管プリアンプをシミュレートしたエフェクトです。直列につないだ2本の真空管を個別に設定できます。真空管のもつ独特のあたたかみのある音を作り出すことができます。インサート・エフェクトでは、モノ・イン - モノ・アウトになります。



マスター・エフェクトでは、ステレオ・イン - ステレオ・アウトとなります。



Tu1LoCut (Tube1 Low Cut)

[000...127]

1 段目の低域カット・フィルターの周波数を設定します。

Tu1HiCut (Tube1 High Cut)

[000...127]

1 段目の高域カット・フィルターの周波数を設定します。

Tu1 Gain (Tube1 Gain)

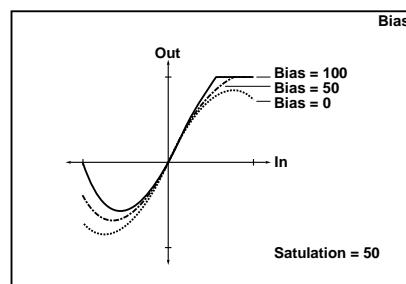
[-Inf, -40...+24dB]

1 段目の入力ゲインを調節します。

Tu1 Bias (Tube1 Bias)

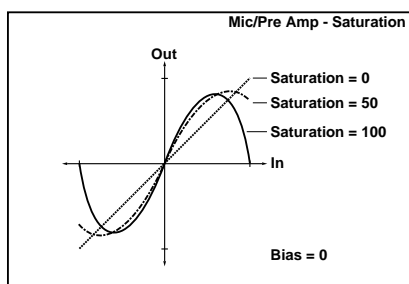
[000...100%]

1 段目の入出力特性を設定します。真空管のバイアスの変化による波形の歪みを再現します。値を大きくすると、ゲインが低くても歪みが発生するようになります。また、倍音構成も変化するため、音質をコントロールすることができます。



Tu1 Satu (Tube1 Satulation) [000...100%]

1 段目のバイアス電圧を設定します。値を大きくすると高ゲイン時に波形が変化し、歪みやすくなります。値を小さくするとリニアな特性になります。



Phase [Normal, Inverted]

信号の位相を反転します。Invertedにすると、1 段目と 2 段目の間で信号の位相を反転します。2 段目では反転した信号に対してバイアス (Bias) がかかるため音色が変化します。Normal では位相は反転しません。

Tu2LoCut (Tube2 Low Cut) [000...127]

2 段目の低域カット・フィルターの周波数を設定します。

Tu2HiCut (Tube2 High Cut) [000...127]

2 段目の高域カット・フィルターの周波数を設定します。

Tu2 Gain (Tube2 Gain) [-Inf, -40...+24dB]

2 段目の入力ゲインを調節します。

Tu2 Bias (Tube2 Bias) [000...100%]

2 段目の入出力特性を設定します。

☞ 「Tu1 Bias (Tube1 Bias)」

Tu2 Satu (Tube2 Satulation) [000...100%]

2 段目のバイアス電圧を設定します。

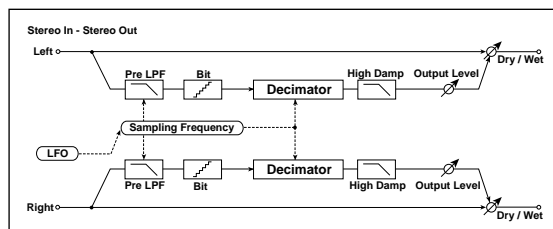
☞ 「Tu1 Satu (Tube1 Satulation)」

OutLevel (Output Level) [000...127]

出力レベルを調節します。

10. S.Decmtr (Stereo Decimator)

サンプリング周波数やデータのビット長を低下させて、チープなサンプラーのようなざらざらしたサウンドを作り出すエフェクトです。サンプラー独特のノイズも再現します。



Pre LPF [Off, On]

サンプリング低下による高調波ノイズの有無を設定します。サンプリング周波数の低いサンプラーでは、再生できないほどの高い音を入力すると、原音と関係のないピッチのノイズが発生します。“Pre LPF” を On にすると、このノイズの発生を抑えます。“Fs” を 3kHz 程度に設定しておいて “Pre LPF” を Off にすると、リングモジュレータのようなサウンドになります。

HighDamp [000...100%]

高域の減衰量を調節します。

Fs [01.0k...48kHz]

サンプリング周波数を設定します。

Bit [04...24bit]

データのビット長を設定します。値を小さくすると粗く、歪んだような音に変化します。設定によって音量が変わるので “OutLevel” で調節してください。

OutLevel (Output Level) [000...127]

出力レベルを調節します。

FsMod Int (Modulation Intensity) [-63...+63]

内部 LFO によるサンプリング周波数へのモジュレーション効果の深さを調節します。

LFO Sync (LFO BPM Sync) [Off, On]

内部 LFO の周期を [TEMPO] ノブで設定したテンポや MIDI クロックに同期させるかどうかを設定します。

☞ 5 ページ 「LFO Sync (LFO BPM Sync)」

LFO Freq (LFO Frequency) [0.01...100.0Hz]

“LFO Sync” が Off のときの内部 LFO の周期を設定します。

☞ 5 ページ 「LFO Freq (LFO Frequency)」

SyncNote (LFO Sync Note) [8/1...1/64]

“LFO Sync” が On のときの内部 LFO の周期を、[TEMPO] ノブで設定したテンポに対する倍率で設定します。

☞ 5 ページ 「SyncNote (LFO Sync Note)」

LFO Wave (LFO Waveform)

[Saw, Square, Triangle, Sine, S&H]

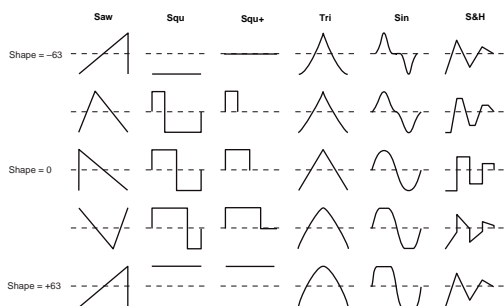
内部LFOの波形を選択します。

☞ 5ページ「LFO Wave (LFO Waveform)」

LFOShape (LFO Shape)

[-63...+63]

内部LFO波形を調節します。

**Key Sync (LFO Key Sync)**

[Off, Timbre]

モジュレーション・ソース ("Mod Src") が LFO のときのノート・オン時の LFO のリセットについて設定します。

☞ 5ページ「Key Sync (LFO Key Sync)」

IniPhase (LFO Init Phase)

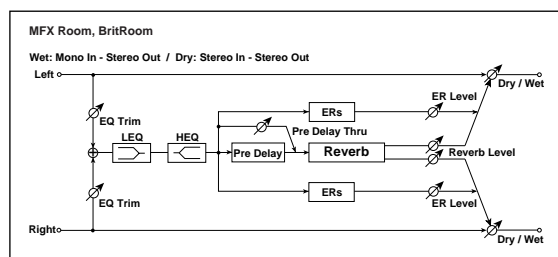
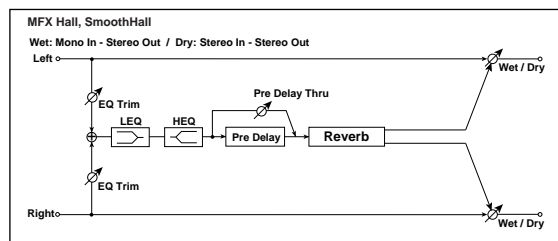
[000...180°]

"Key Sync" が Timbre のときの波形のスタート位置を設定します。

☞ 6ページ「IniPhase (LFO Init Phase)」

11. Reverb

ホールの残響などのアンビエンスをシミュレートしたエフェクトです。

**Type**

[Hall...BritRoom]

リバーブ・タイプを選択します。インサート・エフェクトとマスター・エフェクトでは、選択できるリバーブ・タイプが異なります。

Hall: 中くらいの大きさのコンサート・ホールやアンサンブル・ホールの残響音が得られるホール・タイプのリバーブです。**SmithHall (Smooth Hall) only MFH:** 大きめのホールやスタジアムの残響音が得られるホール・タイプのリバーブです。リリースのスムーズな残響音が得られます。マスター・エフェクトのみで選択が可能です。**Plate only IFX:** プレート・リバーブ。インサート・エフェクトのみで選択が可能です。**WetPlate only MFX:** 暖かみのある(密度の濃い)残響音が得られるプレート・リバーブです。マスター・エフェクトのみで選択が可能です。**DryPlate only MFX:** 乾いた感じ(軽め)の残響音が得られるプレート・リバーブです。マスター・エフェクトのみで選択が可能です。**Room:** タイツな感じが得られる初期反射音を強調したルーム・タイプのリバーブです。初期反射音とリバーブ音のバランスを変えることで、部屋の壁の質感をコントロールすることができます。**BritRoom (Bright Room) only MFX:** 明るい感じが得られる初期反射音を強調したルーム・タイプのリバーブです。マスター・エフェクトのみで選択が可能です。**Rev Time (Reverb Time) **

[Hall or Plate: 00.1...10.0sec, Room: 00.1...03.0sec]

残響時間を設定します。"Type" によって設定できる残響時間が変わります。

HighDamp

[000...100%]

高域の減衰量を設定します。

PreDelay^{only} MFX [000...200msec]
ダイレクト音からのディレイタイムを設定します。

PrDlyThr (Pre Delay Thru)^{only} MFX [000...127]
ディレイしない音をミックスする量を設定します。

EQ Trim (Pre EQ Trim)^{only} MFX [000...127]
イコライザーへの入力レベルを設定します。

LoEQGain (Low EQ Gain)^{only} MFX [-15.0...+15.0dB]
低域イコライザーのゲインを設定します。

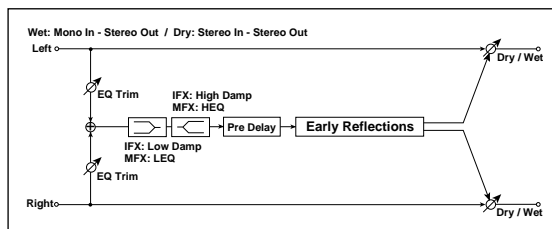
HiEQGain (High EQ Gain)^{only} MFX [-15.0...+15.0dB]
高域イコライザーのゲインを設定します。

ER Level (Early Reflection Level)^{only} MFX [000...127]
マスター・エフェクトで Room または BritRoom を選択したときの初期反射音のレベルを設定します。

RevLevel (Reverb Level)^{only} MFX [000...127]
マスター・エフェクトで Room または BrightR を選択したときのリバーブ・レベルを設定します。

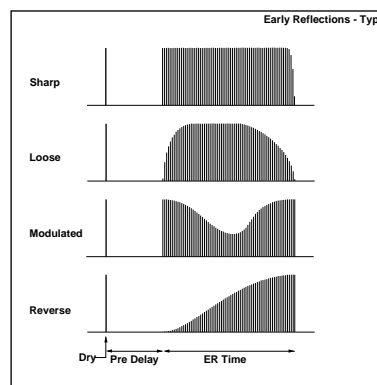
12. EarlyRef (Early Reflections)


リバーブの初期反射音のみを取り出したエフェクトです。音に臨場感、存在感を与えます。反射音の減衰のカーブを4種類の中から選べます。



Type [Sharp, Loose, Modulate, Reverse]

初期反射音の減衰カーブを選択します。



ER Time  [IFX: 010...400msec, MFX: 010...800msec]
初期反射音の長さを設定します。インサート・エフェクトとマスター・エフェクトで設定範囲が異なります。

PreDelay [IFX: 000...100msec, MFX: 000...200msec]
原音から最初の初期反射音までの時間を設定します。インサート・エフェクトとマスター・エフェクトで設定範囲が異なります。

EQ Trim (Pre EQ Trim) [000...127]
エフェクト音にかかるイコライザーへの入力レベルを調節します。

LoEQGain (Low EQ Gain)^{only} MFX [-15.0...+15.0dB]
低域イコライザーのゲインを調節します。

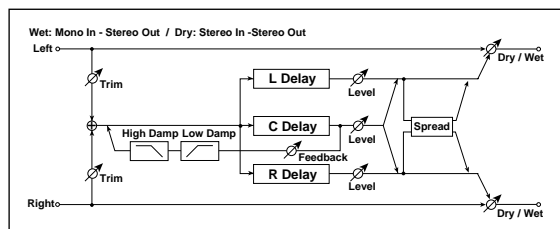
HiEQGain (High EQ Gain)^{only} MFX [-15.0...+15.0dB]
高域イコライザーのゲインを調節します。

HighDamp^{only} IFX [000...100%]
高域の減衰量を調節します。

Low Damp^{only} IFX [000...100%]
低域の減衰量を調節します。

13. LCR Dly (L/C/R Delay)

3タップがそれぞれ左、中央、右に出力されるマルチタップ・ディレイです。ディレイ音の左右の広がりを調整することができます。



Trim [0...127]
エフェクトへの入力レベルを調節します。

Spread [0...127]
エフェクト音の定位する幅を設定します。127にすると、最大に広がります。0にすると、両チャンネルのエフェクト音をセンターから出力します。

BPM Sync (Delay Time BPM Sync) [Off, On]

ディレイ・タイムの同期を設定します。Onにすると、ディレイ・タイムがテンポやMIDIクロックに同期します。

TimRatio (Time Ratio)

[BPM Sync Off: 000.5...400.0% (OVER),
BPM Sync On: 012.5...400.0% (OVER)]

各ディレイ・タイムを“L Delay”、“C Delay”、“R Delay”の値に対する割合で設定します。3つの値の割合を変えずに1つの値で調節できます。例えば、“TimRatio”を50%、“L Delay”を500msec、“C Delay”を700msec、“R Delay”を1000msecにすると、実際のディレイ・タイムは、それぞれ250msec、350msec、500msecとなります。テンポ・シンク (“BPM Sync”) のオン/オフにより可変範囲が変わります。

このエフェクトをディレイやコーラスと使用した場合には、ディレイ・タイムが制限されます。また、各ディレイ・タイムと“TimRatio”の設定によって制限を超えたときは、“TimRatio”にOVERと表示されます。

L Delay, C Delay, R Delay (L, C, R Delay Time)

[BPM Sync Off IFX: 0000...1000msec,
BPM Sync Off MFX: 0000...1400msec,
BPM Sync On: 1/64... 1/1]

タップL、C、Rの各ディレイ・タイムを設定します。ディレイ・タイムは、ここでの値と“TimRatio”の値で決まります。“BPM Sync”がOffのときは、msec単位で設定します。インサート・エフェクトとマスター・エフェクトでは設定範囲が異なります。

“BPM Sync”がOnのときは、[TEMPO]ノブで設定したテンポまたは、MIDIクロックに対するレゾリューションでディレイ・タイムを設定します。

L Level, C Level, R Level (L, C, R Delay Level) [000...127]

タップL、C、Rの出力レベルを調節します。

C Fback (C Feedback) [000...127]

タップCのフィードバック量を調節します。

HighDamp [000...100%]

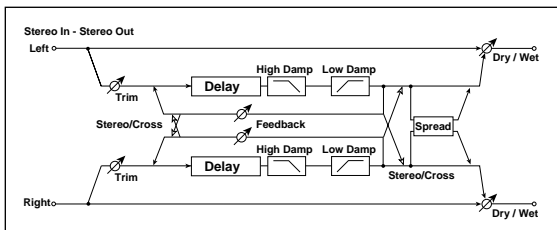
高域の減衰量を調節します。

Low Damp [000...100%]

低域の減衰量を調節します。

14. S.Delay (Stereo Delay)

ステレオ・タイプのディレイです。フィードバックの接続を変えて、ディレイが左右に飛び交うクロス・フィードバック・ディレイとしても使用できます。



Type [Stereo, Cross]

ディレイ・タイプを選択します。Stereo にするとノーマルなステレオ・ディレイになります。Cross にするとディレイ音が左右に飛び交うクロス・フィードバック・ディレイになります。

BPM Sync (DelayTime BPM Sync) [Off, On]

ディレイ・タイムの同期を設定します。

☞13 ページ LCR Delay 「BPM Sync (DelayTime BPM Sync)」

TimRatio (Time Ratio) ☞ [BPM Sync Off: 000.5...400.0% (OVER), BPM Sync On: 012.5...400.0% (OVER)]

☞13 ページ LCR Delay 「TimRatio (Time Ratio)」

L Delay, R Delay (L, R Delay Time) [BPM Sync Off: IFX: 000...500msec, BPM Sync Off: MFX: 000...700msec, BPM Sync On: 1/64... 1/1]

左右チャンネルのディレイ・タイムを設定します。ディレイ・タイムはここでの値と「TimRatio」の値で決まります。

「BPM Sync」がOffのときは、msec 単位でディレイ・タイムを設定します。インサート・エフェクトとマスター・エフェクトでは設定範囲が異なります。

「BPM Sync」がOnのときは、[TEMPO] ノブで設定したテンポまたは、MIDI クロックに対するレゾリューションによってディレイ・タイムを設定します。

Feedback ☞ [000...127]
左右チャンネルのフィードバック量を調節します。

HighDamp [000...100%]
高域の減衰量を調節します。

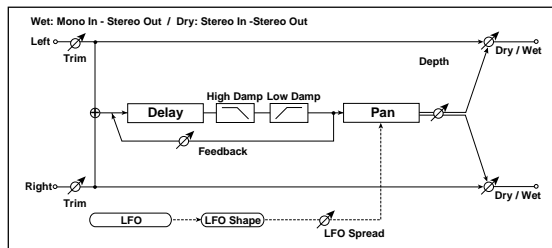
Low Damp [000...100%]
低域の減衰量を調節します。

Trim [000...127]
エフェクトへの入力レベルを調節します。

Spread [000...127]
エフェクト音の定位する幅を設定します。
☞13 ページ LCR Delay 「Spread」

15. AtPanDly (Auto Panning Delay)

ディレイ音の定位を LFO で左右にパンニングさせるエフェクトです。



BPM Sync (DelayTime BPM Sync) [Off, On]

ディレイ・タイムの同期を設定します。

☞13 ページ LCR Delay 「BPM Sync (Delay Time BPM Sync)」

TimRatio (Time Ratio) ☞ [BPM Sync Off: 0.5...400% (OVER), BPM Sync On: 12.5...400% (OVER)]

☞13 ページ LCR Delay 「TimRatio (Time Ratio)」

L Delay, R Delay (L, R Delay Time) [BPM Sync Off IFX: 0000...1000msec, BPM Sync Off MFX: 0000...1400msec/ BPM Sync On: 1/64...1/1]

左右チャンネルのディレイ・タイムを設定します。ディレイ・タイムはここでの値と「TimRatio」の値で決まります。

「BPM Sync」がOffのときは、msec 単位でディレイ・タイムを設定します。インサート・エフェクトとマスター・エフェクトでは設定範囲が異なります。

「BPM Sync」がOnのときは、[TEMPO] ノブで設定したテンポまたは、MIDI クロックに対するレゾリューションによってディレイ・タイムを設定します。

Feedback ☞ [000...127]
左チャンネルのフィードバック量を調節します。

ModDepth (Modulation Depth) ☞ [000...127]
モジュレーション効果の深さを調節します。

LFO Sync (LFO BPM Sync) [Off, On]
内部LFOの周期を[TEMPO] ノブで設定したテンポやMIDI クロックに同期させるかどうかを設定します。

☞5 ページ 「LFO Sync (LFO BPM Sync)」

LFO Freq (LFO Frequency) ☞ [0.01...100.0Hz]
「LFO Sync」がOffのときの内部LFOの周期を設定します。

☞5 ページ 「LFO Freq (LFO Frequency)」

SyncNote (LFO Sync Note) ☞ [8/1...1/64]
「LFO Sync」がOnのときの内部LFOの周期を、[TEMPO] ノブで設定したテンポに対する倍率で設定します。

☞5 ページ 「SyncNote (LFO Sync Note)」

LFO Wave (LFO Waveform) [Saw, Square, Triangle, Sine, S&H]

内部LFOの波形を選択します。

☞ 5ページ「LFO Wave (LFO Waveform)」

LFOShape (LFO Shape) [-63...+63]

内部LFO波形を調節します

☞ 5ページ「LFO Shape (LFO Shape)」

Key Sync (LFO Key Sync) [Off, Timbre]

ノート・オン時のLFOのリセットについて設定します。

☞ 5ページ「Key Sync (LFO Key Sync)」

IniPhase (LFO Init Phase) [000...180°]

“Key Sync” がTimbreのときの波形のスタート位置を設定します。

☞ 6ページ「IniPhase (LFO Init Phase)」

HighDamp [000...100%]

高域の減衰量を調節します。

Low Damp [000...100%]

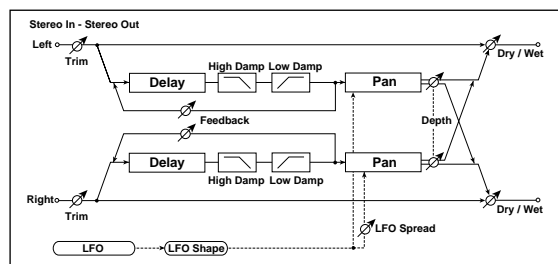
低域の減衰量を調節します。

Trim [000...127]

エフェクトへの入力レベルを調節します。

16. S.APnDly (Stereo Auto Panning Delay)

ディレイ音の定位をLFOで左右にパンニングさせるステレオ・ディレイです。



BPM Sync (DelayTime BPM Sync) [Off, On]

ディレイ・タイムの同期を設定します。

☞ 13ページ LCR Delay 「BPM Sync (Delay Time BPM Sync)」

TimRatio (Time Ratio) [BPM Sync Off: 000.5...400.0% (OVER), BPM Sync On: 012.5...400.0% (OVER)]

☞ 13ページ LCR Delay 「TimRatio (Time Ratio)」

L Delay, R Delay (L, R Delay Time) [BPM Sync Off IFX: 000...500msec, BPM Sync Off MFx: 000...700msec, BPM Sync On: 1/64... 1/1]

左右チャンネルのディレイ・タイムを設定します。

☞ 14ページ StDelay 「L Delay, R Delay (L, R Delay Time)」

Feedback [000...127]

左チャンネルのフィードバック量を調節します。

☞ 14ページ StDelay 「Feedback」

ModDepth (Modulation Depth) [000...127]

モジュレーション効果の深さを調節します。

LFO Sync (LFO BPM Sync) [Off, On]

内部LFOの周期を[TEMPO]ノブで設定したテンポや、MIDIクロックに同期させるかどうかを設定します。

☞ 5ページ「LFO Sync (LFO BPM Sync)」

LFO Freq (LFO Frequency) [0.01...100.0Hz]

“BPM Sync” がOffのときの内部LFOの周期を設定します。

☞ 5ページ「LFO Freq (LFO Frequency)」

SyncNote (LFO Sync Note) [8/1...1/64]

“LFO Sync” がOnのときの内部LFOの周期を、[TEMPO]ノブで設定したテンポに対する倍率で設定します。

☞ 5ページ「SyncNote (LFO Sync Note)」

LFO Wave (LFO Waveform) [Saw, Square, Triangle, Sine, S&H]

内部LFOの波形を選択します。

☞ 5ページ「LFO Wave (LFO Waveform)」

LFOShape (LFO Shape) [-63...+63]

内部LFO波形を調節します。

☞ 5ページ「LFO Shape (LFO Shape)」

Key Sync (LFO Key Sync) [Off, Timbre]

ノート・オン時のLFOのリセットについて設定します。

☞ 5ページ「Key Sync (LFO Key Sync)」

IniPhase (LFO Init Phase) [000...180°]

“Key Sync”がTimbreのときの波形のスタート位置を設定します。

☞ 6ページ「IniPhase (LFO Init Phase)」

LFOspread (LFO Spread) [-180...+180°]

左右チャンネルの位相差を設定します。

HighDamp [000...100%]

高域の減衰量を調節します。

Low Damp [000...100%]

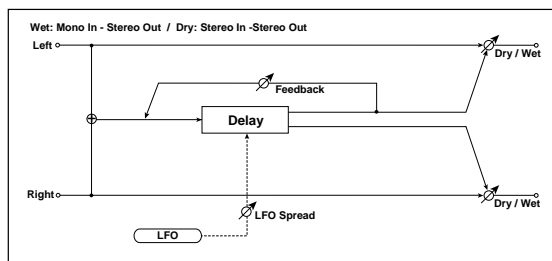
低域の減衰量を調節します。

Trim [000...127]

エフェクトへの入力レベルを調節します。

17. ModDelay (Modulation Delay)

ディレイ・タイムをLFOでスイープさせることができるディレイです。音程も変化して聞こえるので、うなりやゆらぎのあるディレイ音を得ることができます。



BPM Sync (Delay Time BPM Sync) [Off, On]

ディレイ・タイムの同期を設定します。

☞ 13ページ LCR Delay「BPM Sync (Delay Time BPM Sync)」

TimRatio (Time Ratio)

[BPM Sync Off: 000.5...400.0% (OVER),
BPM Sync On: 012.5...400.0% (OVER)]

☞ 13ページ LCR Delay「TimRatio (Time Ratio)」

L Delay, R Delay (L, R Delay Time)

[BPM Sync Off IFX: 000...980msec,
BPM Sync Off MFX: 0000...1380msec,
BPM Sync On: 1/64... 1/1]

左右チャンネルのディレイ・タイムを設定します。

☞ 14ページ StDelay「L Delay, R Delay (L, R Delay Time)」

Feedback [000...127]

左チャンネルのフィードバック量を調節します。

ModDepth (Modulation Depth) [000...127]

モジュレーション効果の深さを調節します。

LFO Freq (LFO Frequency) [0.01...100.0Hz]

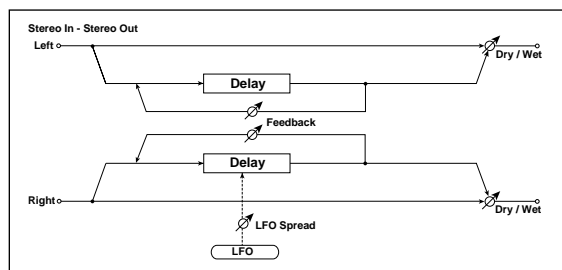
内部LFOの周期を設定します。値が大きいほど周期が速くなります。

LFOspread (LFO Spread) [-180...+180°]

左右チャンネルの位相差を設定します。

18. S.ModDly (Stereo Modulation Delay)

ステレオ・タイプのモジュレーション・ディレイです。



BPM Sync (Delay Time BPM Sync) [Off, On]

ディレイ・タイムの同期を設定します。

☞ 13 ページ LCR Delay 「BPM Sync (Delay Time BPM Sync)」

TimRatio (Time Ratio) [BMPSync Off: 000.5...400.0% (OVER),
BMPSync On: 012.5...400.0% (OVER)]

☞ 13 ページ LCR Delay 「TimRatio (Time Ratio)」

L Delay, R Delay (L, R Delay Time)
[BPM Sync Off: IFX: 000...480msec,
BPM Sync Off: MFX: 000...680msec/
BPM Sync On: 1/64... 1/1]

左右チャンネルのディレイ・タイムを設定します。

☞ 14 ページ StDelay 「L Delay, R Delay (L, R Delay Time)」

Feedback [000...127]

左チャンネルのフィードバック量を調節します。

☞ 14 ページ StDelay 「Feedback」

ModDepth (Modulation Depth) [000...127]

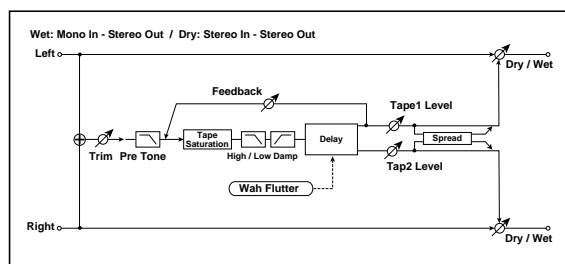
モジュレーション効果の深さを調節します。

LFO Freq (LFO Frequency) [0.01...100.0Hz]
内部 LFO の周期を設定します。値が大きいほど周期が速くなります。

LFO Spread (LFO Spread) [-180...180°]
左右チャンネルの位相差を設定します。

19. TapeEcho

テープ・エコーをシミュレートしたエフェクトです。磁気テープによる歪みや音色変化も再現しています。



BPM Sync (Delay Time BPM Sync) [Off, On]

ディレイ・タイムの同期を設定します。

☞ 13 ページ LCR Delay 「BPM Sync (Delay Time BPM Sync)」

TimRatio (Time Ratio) [BPM Sync Off: 000.5...400.0% (OVER),
BPM Sync On: 012.5...400.0% (OVER)]

☞ 13 ページ LCR Delay 「TimRatio (Time Ratio)」

Tap1 Dly, Tap2 Dly (Tap1, Tap2 Delay Time)
[BPM Sync Off IFX: 000...980msec,
BPM Sync Off MFX: 0000...1380msec/
BPM Sync On: 1/64... 1/1]

Tap1、Tap2の各ディレイ・タイムを設定します。

☞ 13 ページ LCR Delay 「L Delay, C Delay, R Delay (L, C, R Delay Time)」

Tap1 Lvl, Tap2 Lvl (Tap1 Level, Tap2 Level) [000...127]
タップ1、タップ2の出力レベルを調節します。

Feedback [000...127]
タップ1のフィードバック量を調節します。

HighDamp [000...100%]
高域の減衰量を調節します。

Low Damp [000...100%]
低域の減衰量を調節します。

Trim [000...127]
エフェクトへの入力レベルを調節します。

Saturatn (Saturation) [000...127]
エフェクト音の歪み具合を調節します。

Wow Freq (Wow Flutter Frequency) [0.01...100.0Hz]
ピッチの揺れ具合を Hz 単位で調節します。

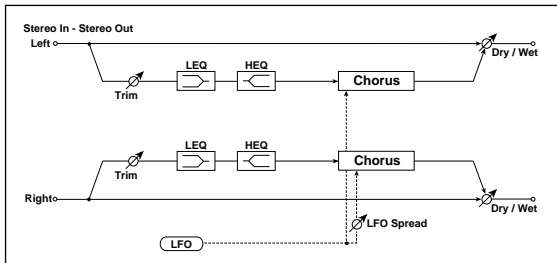
WowDepth (Wow Flutter Depth) [000...127]
ピッチの揺れの深さを調節します。

Pre Tone [000...127]
入力音の音質を調節します。

Spread [000...127]
エフェクト音の定位する幅を設定します。
☞ 13 ページ LCR Delay 「Spread」

20. S.Chorus (Stereo Chorus)

入力信号のディレイ・タイムを揺らすことによって、音に厚みや暖かさを与えるエフェクトです。2バンドのEQによって好みの音質を得ることができます。また左右のLFOをずらして広がりをコントロールすることができます。



ModDepth (Modulation Depth) [000...127]
モジュレーションの深さを調節します。

LFO Freq (LFO Frequency) [0.01...100.0Hz]
内部LFOの周期を設定します。値が大きいかほど周期が速くなります。

LFOspread (LFO Spread) [-180...180°]
左右チャンネルのLFOの位相差を設定します。

PreDly L, PreDly R (Pre Delay L, R) [00.0...50.0msec]
左右チャンネルの各ディレイタイムを設定します。

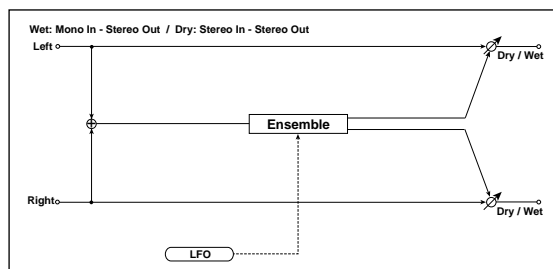
Trim [000...127]
エフェクトへの入力レベルを調節します。

LoEQGain (Low EQ Gain)^{only MFX} [-15.0...+15.0dB]
低域イコライザーのゲインを調節します。

HiEQGain (High EQ Gain)^{only MFX} [-15.0...+15.0dB]
高域イコライザーのゲインを調節します。

21. Ensemble

深みと広がりのあるアンサンブル効果が得られるエフェクトです。

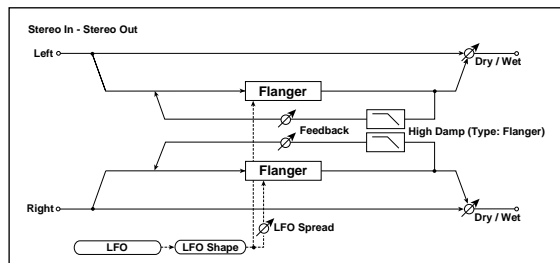


Mod Depth (Modulation Depth) [000...127]
LFOによるモジュレーションの深さを調節します。

Speed [001...127]
LFOのスピードを調節します。

22. S.Flanger (Stereo Flanger/Comb Filter)

激しいうねりと音程の移動感を与えるエフェクトです。倍音を多く含んだ音にかけると効果的です。ステレオ・タイプで左右のLFOをずらして広がりコントロールすることができます。コム・フィルターとして使用することもできます。



Type [Flanger, Comb]
エフェクトをフランジャーまたはコム・フィルターに切り替えます。

Delay [00.0...30.0msec]
“Type” が Flanger のときに、ディレイ・タイムを msec 単位で設定します。

このパラメーターが “IFx1 Knob” などアサインされている場合、“Type” を Comb にすると、アサインが “Cutoff” に切り替わります。

Cutoff (Cutoff Frequency) [000...127]
“Type” が Comb のときに、コム・フィルターのカットオフ周波数を設定します。

ModDepth (Modulation Depth) [000...127]
モジュレーションの深さを調節します。

Feedback [000...127]
左右チャンネルのフィードバック量を調節します。

Phase [+,-]
“Type” が Flanger のときに、出力とフィードバックの位相を切り替えます。

LFO Sync (LFO BPM Sync) [Off, On]
内部LFOの周期を [TEMPO] ノブで設定したテンポやMIDIクロックに同期させるかどうかを設定します。
☞ 5 ページ 「LFO Sync (LFO BPM Sync)」

LFO Freq (LFO Frequency) [0.01...100.0Hz]
“LFO Sync” が Off のときの内部LFOの周期を設定します。
☞ 5 ページ 「LFO Freq (LFO Frequency)」

SyncNote (LFO Sync Note) [8/1...1/64]
“LFO Sync” が On のときの内部LFOの周期を、[TEMPO] ノブで設定したテンポに対する倍率で設定します。
☞ 5 ページ 「SyncNote (LFO Sync Note)」

LFO Wave (LFO Waveform) [Saw, Square, Triangle, Sine, S&H]
LFOの波形を選択します。

☞ 5 ページ 「LFO Wave (LFO Waveform)」

LFOShape (LFO Shape) [-63...+63]
内部LFO波形を調節します。
☞ 5 ページ 「LFO Shape (LFO Shape)」

Key Sync (LFO Key Sync) [Off, Timbre]
ノート・オン時のLFOのリセットについて設定します。
☞ 5 ページ 「Key Sync (LFO Key Sync)」

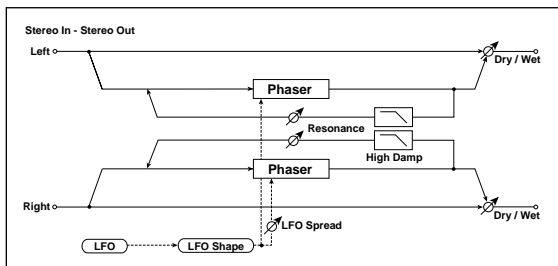
IniPhase (LFO Init Phase) [000...180°]
“Key Sync” が Timbre のときの波形のスタート位置を設定します。
☞ 6 ページ 「IniPhase (LFO Init Phase)」

LFOSpread (LFO Spread) [-180...+180°]
左右チャンネルのLFOの位相差を設定します。

HighDamp [000...100%]
“Type” が Flanger のときの高域の減衰量を調節します。

23. S.Phaser (Stereo Phaser)

音の位相を動かすことによってうねりを作り出すエフェクトです。ステレオ・タイプで、左右のLFOをずらして広がりをコントロールすることができます。




Type [Blue, U-VB]

フェイザーのタイプを選択します。

Manual  [000...127]

効果のかかる周波数を設定します。

ModDepth (Modulation Depth)  [000...127]

内部LFOによるモジュレーションの深さを調節します。

Resonanc (Resonance)  [000...127]

レゾナンス量を調節します。

Phase [+ , -]

出力とフィードバックの位相を切り替えます。

LFO Sync (LFO BPM Sync) [Off, On]

内部LFOの周期を[TEMPO]ノブで設定したテンポや、MIDIクロックに同期させるかどうかを設定します。

 5ページ「LFO Sync (LFO BPM Sync)」


LFO Freq (LFO Frequency)  [0.01...100.0Hz]

“LFO Sync”がOffのときの内部LFOの周期を設定します。

 5ページ「LFO Freq (LFO Frequency)」

SyncNote (LFO Sync Note)  [8/1...1/64]

“LFO Sync”がOnのときの内部LFOの周期を、[TEMPO]ノブで設定したテンポに対する倍率で設定します。

 5ページ「SyncNote (LFO Sync Note)」

LFO Wave (LFO Waveform)
[Saw, Square, Triangle, Sine, S&H]

LFOの波形を選択します。

 5ページ「LFO Wave (LFO Waveform)」

LFOShape (LFO Shape) [-63...+63]

内部LFO波形を調節します。

 5ページ「LFO Shape (LFO Shape)」

Key Sync (LFO Key Sync) [Off, Timbre]

ノート・オン時のLFOのリセットについて設定します。

 5ページ「Key Sync (LFO Key Sync)」

IniPhase (LFO Init Phase) [000...180°]

“Key Sync”がTimbreのときの波形のスタート位置を設定します。

 6ページ「IniPhase (LFO Init Phase)」

LFOSpread (LFO Spread) [-180...+180°]

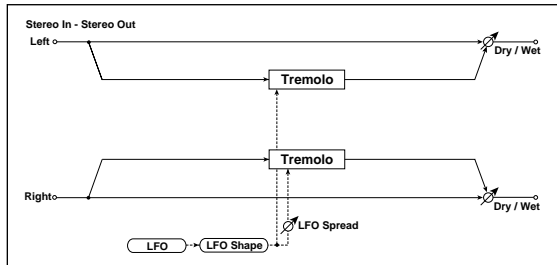
左右チャンネルのLFOの位相差を設定します。

HighDamp [000...100%]

高域の減衰量を調節します。

24. S.Tremol (Stereo Tremolo)

入力信号の音量をゆらすエフェクトです。ステレオ・タイプで、左右の LFO をずらすと左右にゆれるような効果が得られます。



ModDepth (Modulation Depth) [000...127]

内部 LFO によるモジュレーションの深さを調節します。

LFO Sync (LFO BPM Sync) [Off, On]

内部 LFO の周期を [TEMPO] ノブで設定したテンポや、MIDI クロックに同期させるかどうかを設定します。

☞ 5 ページ「LFO Sync (LFO BPM Sync)」

LFO Freq (LFO Frequency) [0.01...100.0Hz]

LFO の周期を設定します。“LFO Sync” が Off のとき表示され、設定が可能です。

☞ 5 ページ「LFO Freq (LFO Frequency)」

SyncNote (LFO Sync Note) [8/1...1/64]

内部 LFO の周期を、[TEMPO] ノブで設定したテンポに対する倍率で設定します。“LFO Sync” が On のときに表示され、設定できます。

☞ 5 ページ「SyncNote (LFO Sync Note)」

LFO Wave (LFO Waveform) [Saw, Square, Triangle, Sine, S&H]

内部 LFO の波形を選択します。

☞ 5 ページ「LFO Wave (LFO Waveform)」

LFOShape (LFO Shape) [-63...+63]

内部 LFO 波形を調節します。

☞ 5 ページ「LFO Shape (LFO Shape)」

Key Sync (LFO Key Sync) [Off, Timbre]

ノート・オン時の LFO のリセットについて設定します。

☞ 5 ページ「Key Sync (LFO Key Sync)」

IniPhase (LFO Init Phase) [000...180°]

“Key Sync” が Timbre のときの波形のスタート位置を設定します。

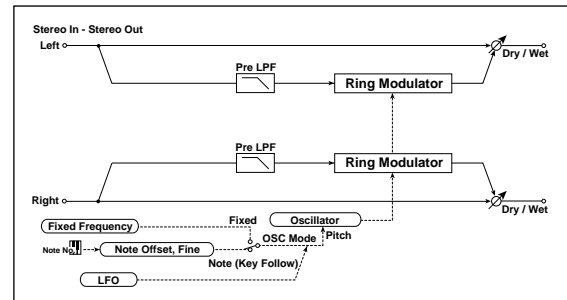
☞ 6 ページ「IniPhase (LFO Init Phase)」

LFOspred (LFO Spread) [-180...+180°]

左右チャンネルの LFO の位相差を設定します。

25. S.RingMd (Stereo Ring Modulator)

入力信号にオシレーターをかけあわせて金属的な音色を作り出すエフェクトです。オシレーターを LFO で変調すると、非常に過激なモジュレーションが得られます。また、オシレーターの周波数をノート・ナンバーに合わせられるので、正しい音階でリング・モジュレーション効果が得られます。




OSC Mode (Oscillator Mode) [Fixed, Note]

オシレーターの周波数をノート・ナンバーに追従させるかどうかを設定します。Note にすると、オシレーターの周波数は入力した信号のノートに追従します。

FixedFrq (Fixed Frequency) [0...12.0kHz]

“OSCMODE” が Fixed のときの、オシレーターの周波数を設定します。


 このパラメーターが “IFx1 Knob” などでアサインされている場合、“OSC Mode” を Note にすると、アサインが “NoteOfst” に切り替わります。

NoteOfst (Note Offset) [-48...+48]

“OSCMODE” が Note のときの、入力したノートとのピッチの差を半音単位で調節します。

NoteFine (Note Fine) [-100...+100cent]

“OSCMODE” が Note のときの、入力したノートとのピッチの差をセント単位で調節します。

 “NoteOfst” と “NoteFine” でオシレーターの周波数を入力したノートに追従させると、正しい音階でリングモジュレーション効果が得られます。

OSC Wave (OSC Waveform) [Saw, Triangle, Sine]

オシレーターの波形を選択します。

LFO Int (LFO Intensity) [-63...+63]

内部 LFO によるモジュレーションの深さを調節します。

LFO Sync (LFO BPM Sync) [Off, On]

内部 LFO の周期を [TEMPO] ノブで設定したテンポや、MIDI クロックに同期させるかどうかを設定します。

☞ 5 ページ「LFO Sync (LFO BPM Sync)」

LFO Freq (LFO Frequency) [0.01...100.0Hz]

“LFO Sync” が Off のときの内部 LFO の周期を設定します。

☞ 5 ページ「LFO Freq (LFO Frequency)」

SyncNote (LFO Sync Note)  [8/1...1/64]

“LFO Sync” がOnのときの内部LFOの周期を、[TEMPO] ノブで設定したテンポに対する倍率で設定します。

☞ 5 ページ「SyncNote (LFO Sync Note)」

LFO Wave (LFO Waveform)
[Saw, Square, Triangle, Sine, S&H]

LFOの波形を選択します。

☞ 5 ページ「LFO Wave (LFO Waveform)」

LFOShape (LFO Shape) [-63...+63]

内部LFO波形を調節します。

☞ 5 ページ「LFO Shape (LFO Shape)」

Key Sync (LFO Key Sync) [Off, Timbre]

ノート・オン時のLFOのリセットについて設定します。

☞ 5 ページ「Key Sync (LFO Key Sync)」

IniPhase (LFO Init Phase) [000...180°]

“Key Sync” がTimbreのときの波形のスタート位置を設定します。

☞ 6 ページ「IniPhase (LFO Init Phase)」

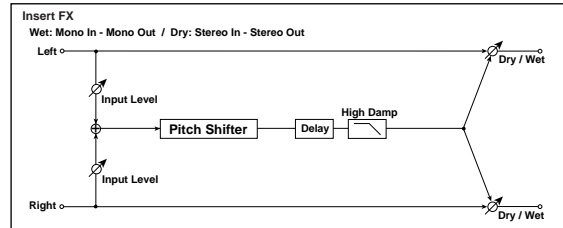
Pre LPF [000...127]

リングモジュレーターに入力する音の高域の減衰量を設定します。入力信号が倍音を多く含むときは、エフェクト音が濁った音になりがちなので、ある程度、高域をカットします。

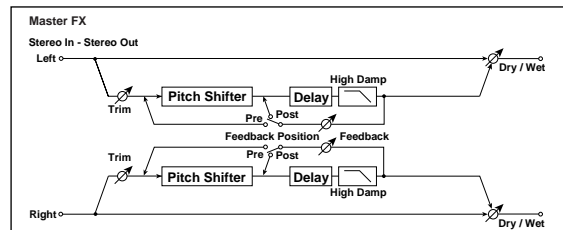
26. PitchSft (Pitch Shifter): IFX S.PtcSft (Stereo PitchShifter): MFX

入力信号のピッチを変えるエフェクトです。反応の速いタイプ、音質変化の少ないタイプ、その中間の3つのタイプから選択できます。またフィードバック付きのディレイを内蔵しているので、音程がどんどん上がっていく（または下がっていく）ような特殊効果も得られます。

インサート・エフェクトでは、モノ・イン - モノ・アウトになります。



マスター・エフェクトでは、ステレオ・イン - ステレオ・アウトになります。



Pitch (Pitch Shift)  [-24...+24]

ピッチシフト量を半音単位で調節します。

Fine [-100...+100]

ピッチシフト量をセント単位で調節します。

BPM Sync (Delay Time BPM Sync) only MFX [Off, On]

ディレイ・タイムの同期を設定します。

☞ 13 ページ LCR Delay 「BPM Sync (DelayTime BPM Sync)」

TimRatio (Time Ratio)  only MFX
[BPM Sync Off: 000.5...400.0% (OVER),
BPM Sync On: 012.5...400.0% (OVER)]

☞ 13 ページ LCR Delay 「TimRatio (Time Ratio)」

Delay (Delay Time) only MFX [BPM Sync Off: 000...500msec,
BPM Sync On: 1/64... 1/1]

“BPM Sync” がOffのときは、msec 単位でディレイタイムを設定します。

“BPM Sync” がOnのときは、[TEMPO] ノブで設定したテンポ、またはMIDIクロックに対する割合によってディレイ・タイムを設定します。

FB Pos (FeedBack Position) only MFX [Pre, Post]

フィードバックの接続を切り替えます。

Feedback  only MFX

[000...127]

フィードバック量を調節します。

Mode [Slow, Medium, Fast]

ピッチシフターの動作モードを選択します。Slowすると音質変化が少なく、Fastにすると反応速度が速いピッチシフターになります。Mediumはその中間です。ピッチシフト量を少なくするときはFast、大幅にピッチシフトするときはSlowにします。

HighDamp [000...100%]

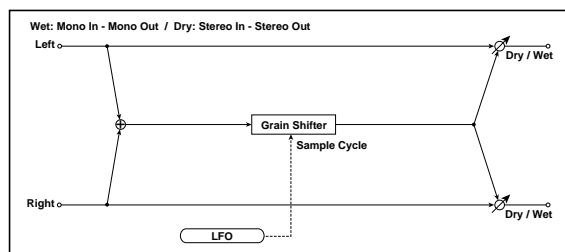
高域の減衰量を調節します。

Trim [000...127]

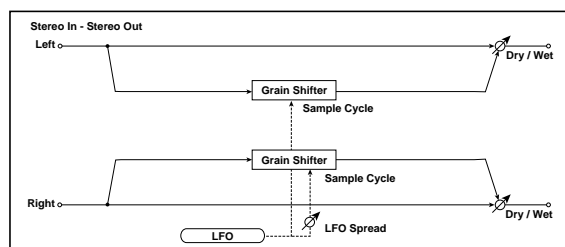
エフェクトへの入力レベルを調節します。

27. GrainSft (Grain Shifter): IFX S.GrnSft (Stereo GrainShift): MFX

ある周期で音をごく短い時間サンプリングし、ループ再生します。外部入力音など音色が常に変化する音に有効です。インサート・エフェクトでは、モノ・イン - モノ・アウトになります。



マスター・エフェクトでは、ステレオ・イン - ステレオ・アウトになります。

**BPM Sync (Duration BPM Sync)** [Off, On]

ループ再生する波形の同期を設定します。Onにするとループ再生する波形がテンポ、またはMIDIクロックに同期します。

TimRatio (Time Ratio) 

[BPM Sync Off: 000.5...400.0% (OVER),
BPM Sync On: 012.5...400.0% (OVER)]

ループ再生する波形の長さを、“Duration”の値に対する割合で設定します。


Duration


[BPM Sync Off IFX: 000...500msec,
BPM Sync Off MFX: 000...350msec,
BPM Sync On: 1/64... 1/1]

ループ再生する波形の長さを設定します。ここでの設定と“TimRatio”の設定によって波形の長さが決まります。

“BPM Sync”がOffのときは、msec単位で設定します。

“BPM Sync”がOnのときは、[TEMPO]ノブで設定したテンポ、またはMIDIクロックに対する割合で設定します。

 インサート・エフェクトで、このエフェクトともう一方にディレイやコーラスのエフェクトを使用した場合、波形の長さが制限されます。

 “Duration”と“TimRatio”の設定によって制限を超えたときは、“TimRatio”にOVERと表示されます。

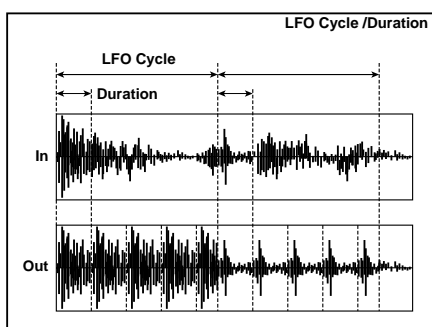
LFO Sync (LFO BPM Sync) [Off, On]


内部LFOの周期を[TEMPO]ノブで設定したテンポや、MIDIクロックに同期させるかどうかを設定します。

5 ページ「LFO Sync (LFO BPM Sync)」

LFO Freq (LFO Frequency) [0.01...100.0Hz]

“LFO Sync” がOffのときの内部LFOによる波形の切り替え周期を設定します。“Duration” で設定された長さの波形をループ再生し、LFOの周期ごとに波形が入れ替わります。



 このパラメーターが“Fx Knob” でノブにアサインされている場合、“BPM Sync” をOnにするとアサインが“Sync Note” に切り替わります。

SyncNote (LFO Sync Note) [8/1...1/64]

“LFO Sync” がOnのときの内部LFOの周期を、[TEMPO] ノブで設定したテンポに対する倍率で設定します。

☞ 5ページ「SyncNote (LFO Sync Note)」

Key Sync (LFO Key Sync) [Off, Timbre]

ノート・オン時のLFOのリセットについて設定します。

☞ 5ページ「Key Sync (LFO Key Sync)」

IniPhase (LFO Init Phase) [000...180°]

“Key Sync” がTimbreのときの波形のスタート位置を設定します。

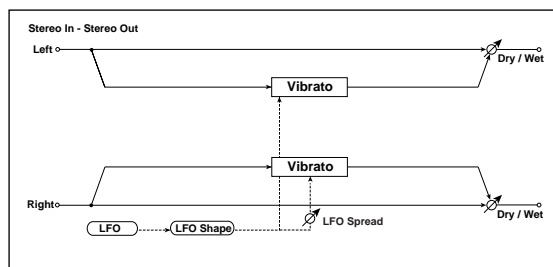
☞ 6ページ「IniPhase (LFO Init Phase)」

LFOspread (LFO Spread)^{only MFX} [-180...+180°]

左右チャンネルの位相差を設定します。マスター・エフェクトに使用したときに表示され、設定できます。

28. S.Vibrat (Stereo Vibrato)

入力信号のピッチをゆらすエフェクトです。ステレオ・タイプで、左右のLFOをずらして広がりコントロールすることができます。



ModDepth (Modulation Depth) [000...127]

内部LFOによるモジュレーションの深さを調節します。

LFO Sync (LFO BPM Sync) [Off, On]

内部LFOの周期を [TEMPO] ノブで設定したテンポや、MIDI クロックに同期させるかどうかを設定します。

☞ 5ページ「LFO Sync (LFO BPM Sync)」

LFO Freq (LFO Frequency) [0.01...100.0Hz]

“LFO Sync” がOffのときの内部LFOの周期を設定します。

☞ 5ページ「LFO Freq (LFO Frequency)」

SyncNote (LFO Sync Note) [8/1...1/64]

“LFO Sync” がOnのときの内部LFOの周期を、[TEMPO] ノブで設定したテンポに対する倍率で設定します。

☞ 5ページ「SyncNote (LFO Sync Note)」

LFO Wave (LFO Waveform) [Saw, Square, Triangle, Sine, S&H]

内部LFOの波形を選択します。

☞ 5ページ「LFO Wave (LFO Waveform)」

LFOshape (LFO Shape) [-63...+63]

内部LFO波形を調節します。

☞ 5ページ「LFO Shape (LFO Shape)」

Key Sync (LFO Key Sync) [Off, Timbre]

ノート・オン時のLFOのリセットについて設定します。

☞ 5ページ「Key Sync (LFO Key Sync)」

IniPhase (LFO Init Phase) [000...180°]

“Key Sync” がTimbreのときの波形のスタート位置を設定します。


☞ 6ページ「IniPhase (LFO Init Phase)」

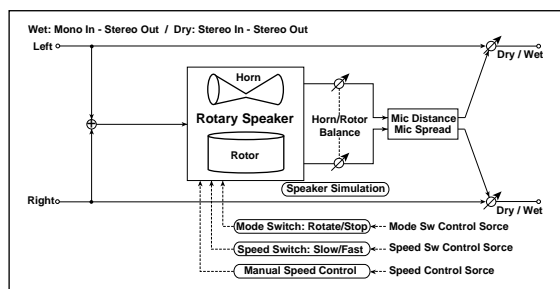
LFOspread (LFO Spread) [-180...+180°]


左右チャンネルのLFOの位相差を設定します。

29. W.RotSpk (RotarySpeaker) ^{Double Size: IFX} RotrySpk: MFX

ロータリー・スピーカーをシミュレートしたエフェクトです。低音側ローターと高音側ホーンを別々にシミュレートし、リアルなサウンドが得られます。また、マイクのセッティングもシミュレートしています。

 このエフェクトをインサート・エフェクト 1 で使用すると、インサート・エフェクト 2 は使用できません。



Mode Sw (Mode Switch)  **[Rotate, Stop]**
スピーカーの回転、停止を切り替えます。


Ctrl Src (Mode Sw. Control Source) **[Off, Velocity...MIDI3]**
“Mode Sw” をコントロールするモジュレーション・ソースを選択します。


 6 ページ St.Filter 「Ctrl Src (Control Source)」

CtrlMode (Mode Sw. Control Mode) **[Toggle, Moment]**
“Ctrl Src” で選択したモジュレーション・ソースの切り替え方を選択します。

Toggle にすると、ペダルを踏んだりジョイスティックを倒すたびに回転、停止が切り替わります。モジュレーション・ソースの値が 64 を超えるたびに、回転、停止が切り替わります。Moment にすると、スピーカーは回転していて、ペダルを踏み込んだりジョイスティックを倒したときだけ停止します。モジュレーション・ソースの値が 64 未満のとき回転、64 以上のとき停止します。

Spk Ctrl (Speaker Control Type) **[Switch, Manual]**
回転速度のスイッチ操作、マニュアル操作を切り替えます。

Speed Sw (Speed Switch)  **[Slow, Fast]**
“Cpk Ctrl” が Switch のときの、スピーカの回転速度を切り替えます。

 このパラメーターが “Fx Knob” でノブにアサインしている場合、“Cpk Ctrl” を Manual にすると、アサインが “Speed” に切り替わります。


Ctrl Src (Sw. Control Source) **[Off, Velocity...MIDI3]**
“Spk Ctrl” が Switch のときに、スピーカーの回転速度スロー/ファスト (“Speed Sw”) を切り替えるモジュレーション・ソースを選びます。


 6 ページ St.Filter 「Ctrl Src (Control Source)」

CtrlMode (Sw. Control Mode) **[Toggle, Moment]**
Ctrl Src で選択したモジュレーション・ソースの切り替え方を選択します。

Toggle にすると、ペダルを踏んだりジョイスティックを倒すたびにスローとファーストが切り替わります。モジュレーション・ソースの値が 64 を超えるたびにスローとファーストが切り替わります。

Moment にすると、普段はスローで、ペダルを踏み込んだりジョイスティックを倒したときだけファーストになります。モジュレーション・ソースの値が 64 未満のときスロー、64 以上のときファーストになります。

Speed  **[001...127]**
“Spk Ctrl” が Manual のときに、スピーカーの回転速度を設定します。

 このパラメーターが “Fx Knob” でノブにアサインしている場合、“Spk Ctrl” を Switch にすると、アサインが “Speed Sw” に切り替わります。

Ctrl Src (Speed Control Source) **[Off, Velocity...MIDI3]**
“Cpk Ctrl” が Manual のときに、スピーカーの回転速度 (“Speed”) をコントロールするモジュレーション・ソースを選びます。

 6 ページ St.Filter 「Ctrl Src (Control Source)」

CtrlInt (Speed Control Intensity) **[-63...+63]**
“Cpk Ctrl” が Manual のときに、スピーカーの回転速度 (“Speed”) をコントロールするモジュレーション・ソースの効果の深さを設定します。


H/R Bal (Horn/Rotor Balance) **[Rotor, 1:99...99:1, Horn]**
高音側ホーンと低音側ローターの音量バランスを調節します。

HrnAccel (Horn Acceleration) **[000...127]**
高音側ホーンの回転速度の切り替えの速さを調節します。実際のロータリー・スピーカーでは、スローとファーストを切り替えても急には変わらず、だんだんとスピードが変わっていきます。

HrnRatio **[Stop, 0.50...2.00]**
高音側ホーンの回転速度の調節します。1 で標準、0.5 で半分、Stop で停止します。

RtrAccel (Rotor Acceleration) **[000...127]**
低音側ローターの回転速度の切り替えの速さを調節します。実際のロータリー・スピーカーでは、スローとファーストを切り替えても急には変わらず、だんだんとスピードが変わっていきます。

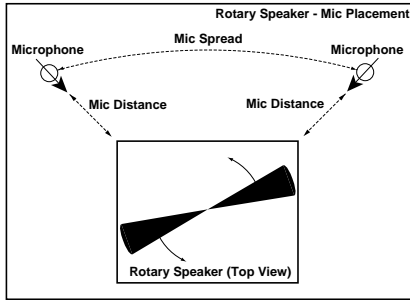
RtrRatio (Rotor Ratio) **[Stop, 0.50...2.00]**
低音側ローターの回転速度の調節します。1 で標準、0.5 で半分、Stop で停止します。

MicDstnc (Mic Distance)  **[000...127]**
マイクフォンとロータリースピーカの距離を設定します。値を大きくするほど距離が離れます。

Spread

[000...127]

左右のマイクロフォンの角度を設定します。



Trim

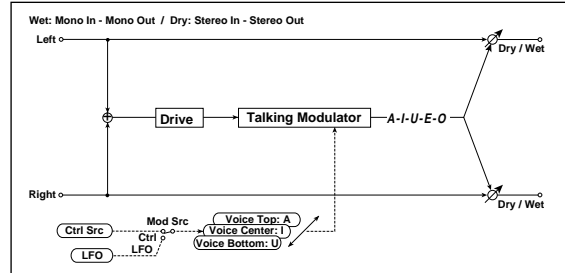
[000...127]

エフェクトへの入力レベルを調節します。

30. W.TalkMd (Talking Modulator) ^{Double Size: IFX} Talk Mod: MFX

入力信号に人の声のようなクセを持たせるエフェクトです。

! このエフェクトをインサート・エフェクト1で使用すると、インサート・エフェクト2は使用できません。



Vo.Ctrl (Voice Control)

[Bottom, -62...-1, Center, +1...+62, Top]

声のパターン（声質）のコントロール

Vo.Top (Voice Top)

[A, I, U, E, O]

コントロール上端での声の母音を設定します。

Vo.Centr (Voice Center)

[A, I, U, E, O]

コントロール中央での声の母音を設定します。

Vo.Btm (Voice Bottom)

[A, I, U, E, O]

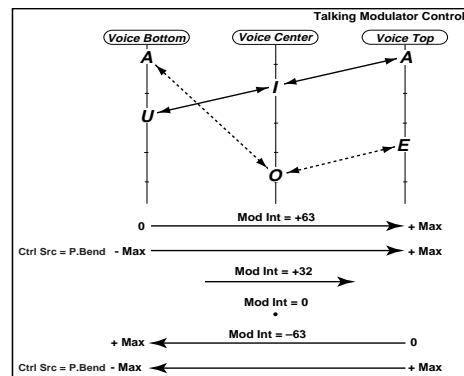
コントロール下端での声の母音を設定します。

例：“Vo.Top”をA、“Vo.Cntr”をI、“Vo.Btm”をUに設定した場合。

“Mod Int” = +63 のとき、モジュレーション・ソースの値によって、「アー」(Voice Top) 「イー」(Voice Center) 「ウー」(Voice Bottom) と声が変わります。

“Mod Int” = -63 のとき、モジュレーション・ソースの値によって、「ウー」(Voice Bottom) 「イー」(Voice Center) 「アー」(Voice Top) と声が変わります。

“Mod Int” = 0 のとき、「イー」(Voice Center) に固定されます。



Resonanc (Resonance) 	[000...127]	Ctrl Src (Control Source)	[Off, Velocity...MIDI3]
声のパターンのレゾナンスの強さを調節します。この値を大きくするほど、くせのある音になります。		"Mod Src" がCtrlのときのコントロール・ソースを選択します。	
Drive 	[000...127]	☞ 6 ページ「Ctrl Src (Control Source)」	
歪み具合を調節します。			
Mod Src (Modulation Source)	[Auto, LFO, Ctrl]		
モジュレーション・ソースを選択します。			
Mod Int (Modulation Intensity) 	[-63...+63]		
モジュレーション・ソースによるモジュレーション効果の深さを調節します。			
Response (Modulation Response)	[000...127]		
モジュレーション効果のレスポンスを調節します。0で反応がゆっくりになります。			
Env Sens (Envelope Sensitivity)	[000...127]		
モジュレーション・ソース("Mod Src")がAutoのとき、エンベロープの感度を設定します。			
EnvShape (Envelope Shape)	[-63...+63]		
モジュレーション・ソース("Mod Src")がAutoのとき、スイープ・カーブを設定します。			
LFO Sync (LFO BPM Sync)	[Off, On]		
内部LFOの周期を[TEMPO]ノブで設定したテンポや、MIDIクロックに同期させるかどうかを設定します。			
☞ 5 ページ「LFO Sync (LFO BPM Sync)」			
LFO Freq (LFO Frequency) 	[0.01...100.0Hz]		
"LFO Sync" がOffのときの内部LFOの周期を設定します。			
☞ 5 ページ「LFO Freq (LFO Frequency)」			
SyncNote (LFO Sync Note) 	[8/1...1/64]		
"LFO Sync" がOnのときの内部LFOの周期を、[TEMPO]ノブで設定したテンポに対する倍率で設定します。			
☞ 5 ページ「SyncNote (LFO Sync Note)」			
LFO Wave (LFO Waveform)	[Saw, Square, Triangle, Sine, S&H]		
内部LFOの波形を選択します。			
☞ 5 ページ「LFO Wave (LFO Waveform)」			
LFOShape (LFO Shape)	[-63...+63]		
内部LFO波形を調節します。			
☞ 5 ページ「LFO Shape (LFO Shape)」			
Key Sync (LFO Key Sync)	[Off, Timbre]		
ノート・オン時のLFOのリセットについて設定します。			
☞ 5 ページ「Key Sync (LFO Key Sync)」			
IniPhase (LFO Init Phase)	[000...180°]		
"Key Sync" がTimbreのときの波形のスタート位置を設定します。			
☞ 6 ページ「IniPhase (LFO Init Phase)」			

